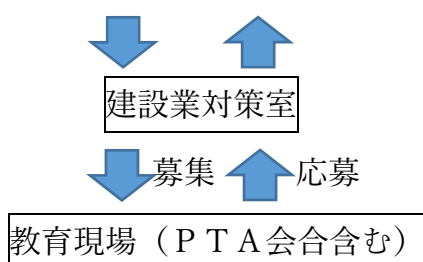


資料5 対応案の内容

1 キャリア教育への参加

(1)各団体と教育現場とのマッチング、連絡調整

職場体験（中）・親子現場見学会（小中）の受け入れ先、出前講座講師等のリストアップ（中高）、私の学校はここにあるプロジェクト（小中）、下記（2）のプログラム



(2)総合学習等に適した新たな学習プログラムの作成・提供

（例：自然災害と建設業の役割、県内インフラ施設の役割・建設時の話と現場見学、校舎や木等の高さの計測 など）

(3)教材となる建設業就職パンフ(建設業の役割・仕事の紹介・建設系学科案内を含む)等の作成・配付

・進路指導教員・保護者等に配付、県HP等にアップ

2 工業科・総合学科に対する施策

(1)1年次における建設産業の説明会・技術者との意見交換会

(2)学校説明会(オープンスクール)への協力

(3)就職説明会等の開催

3 女子学生に対する施策

・女性技術者と女子学生との意見交換会

4 インターシップや現場見学会等の受入マニュアル作成による受け入れ企業拡大

5 UIターン希望者に対する施策

(1)ユースバンクやまなし(県外進学者約3千人)・ 仕事プラザ(一般・大学生)・ 就職応援ナビを積極的に活用

- ・ 就職説明会に関わる情報を発信、県HPにアップ

(2)移住者を雇用した企業への支援

- ・ 資格取得支援など

6 就業者の育成・定着(労務環境改善)に係る施策

(1) 週休二日制の促進

- ・ 全県休工日の実施

(2) 若手技術者に対する施策

- ・ 合同学習会などによる資格取得・キャリアアップの支援
- ・ 若手技術者表彰制度の創出 → モチベーションの維持・向上

(3)女性技術者に対する施策

- ・ 女性技術者との意見交換会